

大分類.C 製品設計

中分類	小分類	チェックの方法	レベ	診断結果	判定			備考
					H25	H26	H27	
1基本的設計能力	①要求品質を捉えているか	設計部門責任者からヒアリング	1	顧客の要求品質を把握しておらず、把握の必要性の認識が無い。				
		設計へのインプット記録の確認	2	要求品質把握の必要性は理解し、直接示されたものは把握している。				
		QFD等の実施記録の事例確認	3	品質機能展開(QFD)を実施する等、確実に顧客要求品質を把握している。				
		設計のインプットと図面の対比確認	4	要求品質を確実に把握の、設計に反映させるやり方をとっている。				
		設計妥当性確認の記録にて	5	顧客要求品質を満たす事を設計時点で保証できている。				
	②設計の不具合改善は全か	不具合一覧表やべからず集の確認	1	設計の不具合/改善情報を蓄積していない。				
		データの検索デモで確認	2	設計の不具合/改善情報を蓄積し、データベース化している。				
		再発防止管理表等の確認	3	不具合/改善情報を確実に把握し、再発防止の仕組みがありそれらを活用している。				
		生産切替の判定記録等の確認	4	FTA(フォルトツリー)、FMEA(フェイラモードエフェクト)等も駆使し、図面の生産切替では抜本的な不具合対策が完了している。				
		設計標準一覧表等の確認	5	不具合対策中の必要部分について、設計標準への落とし込みまでをしている。				
	③コストの作り込みができるか	設計部門責任者からヒアリング	1	コスト意識に欠け、生産が立ち上がってみないとコストが分からない。				
		設計部門責任者からヒアリング	2	コスト意識はあり、設計段階でのコスト低減の努力は見られる。				
		VA/VE実施記録の確認	3	VE/VAの基本ステップを踏み、可能な限り上流の設計段階のコスト低減を図っている。				
		コンカレント活動の予実績記録の確認	4	関連部門と連携したコンカレントエンジニアリングの取組があり、大きなコスト低減が見られる。				
		開発end評価会の議事録事例の確認	5	生産立上り時には目標コストを達成している。				
2デザインレビュー(DR)	④DRの仕組みが充実しているか	設計部門責任者からヒアリング	1	デザインレビュー(DR)の仕組みが無い。				
		DR実施規定の確認	2	DRの仕組みは有り、部分的に定着している。				
		DR実施の予実績一覧表の確認	3	モデルのランクに応じ、審査、検証、妥当性確認等各ステップで適宜レビューを実施している。				
		DRの議事録の事例確認	4	レビューでは関連部門から貴重な問題提起を受け、フォロー結果も含めその記録を維持している。				
		生産移行時の成熟度表の事例確認	5	名レビュー内容はステップに合わせて充実し、生産移行判定時のモデル成熟度は高い。				
	⑤早期のBNE解決はOKか	設計部門責任者からヒアリング	1	製品化へのボトルネック技術(BNE)が意識されないまま設計が進み、DRでもその論議が無い。				
		DRでのチェックリストの確認	2	製品化へのボトルネック技術(BNE)の一部は捉えており、DRでのチェック項目となっている。				
		DRの議事録の事例確認	3	BNEは他社との差別化技術も含め確実に捉え、解決へのシナリオをDRの中でチェックしている。				
		初期流動品管理解除記録の事例確認	4	BNEの問題はDRの中でフォローされ、生産の初期流動品管理期間までには解決している。				
		生産移行時の判定書の事例確認	5	BNEの問題はDRの中で確実にフォローされ、設計段階で解決の見通しを得ている。				
	⑥製品の社会的評価は十分か	設計部門責任者からヒアリング	1	DRIにPLEコデザイン、コンプライアンス等の社会的評価が組込まれていない。				
		DRでのチェックリストの確認	2	DRIにPLEコデザイン、コンプライアンス等の社会的評価が一部組込まれている。				
		DRでのチェックリストの確認	3	社会的評価は製品設計全般が対象となり、DRのチェック項目となっている。				
		初期流動品管理解除記録の事例確認	4	社会的評価はDRの中でフォローされ、生産の初期流動品管理期間までには要求レベルを満たしている。				
		設計妥当性確認の記録にて	5	社会的評価はDRの中で確実にフォローされ、設計段階で要求満足の見通しを得ている。				

3大日程 計画	⑦日程計 画を遵守 している か	設計部門責任者からヒア リング	1	計画遵守の意識が乏しく生産・営業に大きな影響を及ぼす遅延 が見られる。				
		大日程の予実級表の事例確認	2	遵守しようとする意識と動きはあり、生産・営業に影響を及ぼす 致命的遅延は生じていない。				
		設計イベントでの進捗管 理記録の事例確認	3	構想設計から詳細設計まで、計画の確認フォローの仕組みがあ り、それを運用している。				
		設計イベントでの進捗管 理記録の事例確認	4	上記の仕組みが機能し、途中で遅延を生じても挽回する動き をとっている。				
		スケジュールリングシステム のデモで確認	5	グループウェア等を活用したスケジュールリングシステムでリアル タイムな進捗が出来ており、遅れが無い。				
	⑧設計LT を短縮し ているか	設計部門責任者からヒア リング	1	リードタイム(LT)短縮の意識に乏しく、競合他社のLTに大幅に 劣る。				
		設計部門責任者からヒア リング	2	リードタイム(LT)短縮の意識と動きはあるが、顧客の要求する LTは満たせず競合他社にも若干劣る。				
		設計部門責任者からヒア リング	3	組織をあげてLT短縮に取組み顧客要求レベルを満たすが、競 合他社並み。				
		クリティカルパス把握資 料の事例確認	4	PERT的考えを取り入れる等クリティカルパスを確実に捉えた効 果的な取組みがあり、競合他社に勝る。				
		ツール類の活用の仕方 のデモで確認	5	部品表情報や、適切にカスタマイズした3次元CAD等を有効活 用し、競合他社より圧倒的に短いLTを実現。				
	⑨変更点 の管理は 適切か	設計部門責任者からヒア リング	1	変更点管理の必要性の認識を欠き、特別な管理は無い。				
		変更点管理一覧表での 予実績記録確認	2	変更点管理の必要性は理解し、気付いた人が一部をフォローし ている。				
		変更点管理一覧表での 予実績記録確認	3	変更点を明確にし、処理結果を含め記録を残している。				
		DRの議事録の事例確認	4	変更実施前に、審査・検証・妥当性確認を確実に実施している。				
		設計変更管理規定の確 認	5	漏れの生じやすさを補うべく、上記の実施に付き通常時と違う 特別ルールを設けている。				